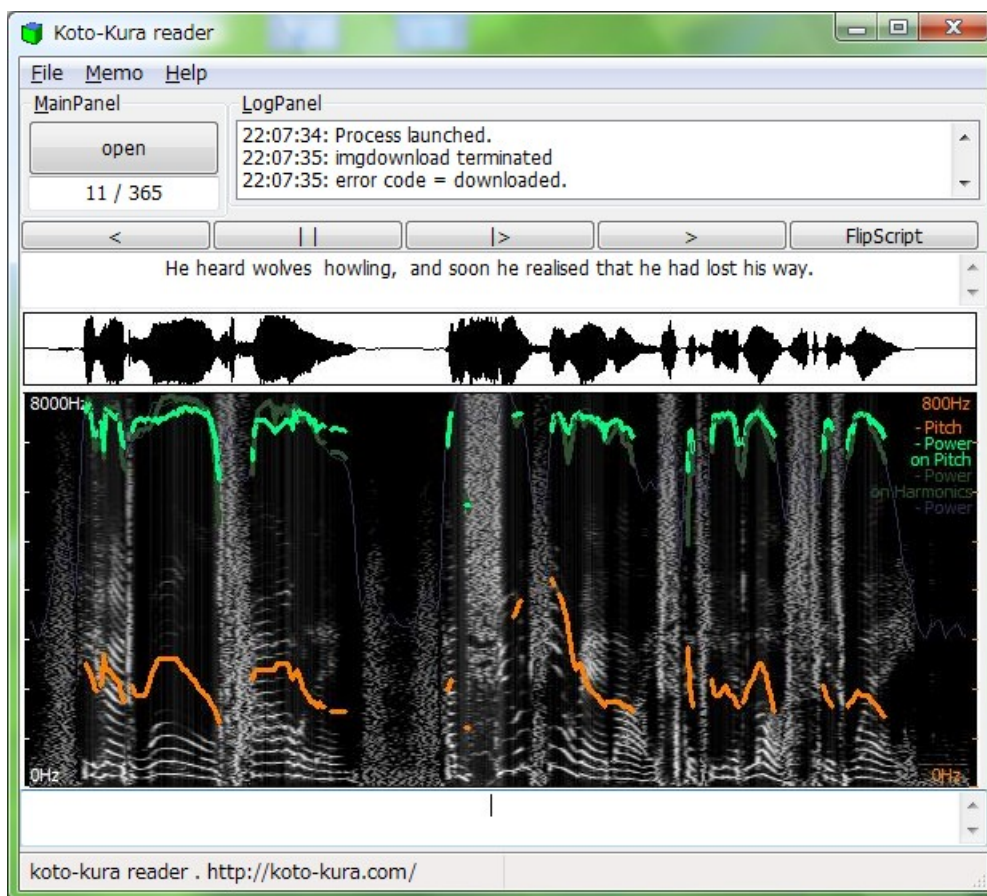


外国語学習 支援ソフトウェア

「こと・くら リーダー」

操作説明書



目次

1. 概要
2. インストールとアンインストール
3. 登録
4. 起動
5. ファイルの読み込み
6. 再生と停止
7. スクリプトの表示
8. メモの移動

1. 概要

「こと・くら リーダー」は、「発音」を通じて外国語の学習を支援するソフトウェアです。

- a) 参考にしたい音源の波形と声紋を音声の再生に合わせて表示します。また声紋からピッチ（音高）とピッチに該当する声の強度を求めて声紋上に表示します。ピッチと強度の時間変化は音声のリズムとイントネーションを知るのに役立ちます。
- b) 参考にしたい音源を再生する際には、該当する箇所のスクリプトを表示します。ただし「音声の再生」と「スクリプトの表示」は同時には行わないことにしました。スクリプトを読みながら音声を聴くとどうしても「空耳アワー」のようなことが起きてしまうようです。そのようなことを避けるため「音声の再生開始」でいったん「スクリプトを非表示」にし、「音声の再生終了」でもう一度「スクリプトを表示」するようにしています。これにより音声の再生時に文字の記憶が促される（非表示になったスクリプトを記憶から呼び戻しながら音声を聴こうとする）ようなので、繰り返すことで「音声と文字の結びつき」が強められることが期待されます。どうかお試しください。
- c) 「音声」と「スクリプト」の同期は、「わぶメモ」か「こと・くら」で作成されたメモを基にしています。ただし「こと・くら リーダー」では声紋を得る際に予め計算された画像ファイルを読み込むことで、「わぶメモ」と「こと・くら」で必要だった待ち時間の大きい二つの処理（「mp3 音源の wave ファイルへのデコード」と「声紋を得るための数値計算」）を省いています。
- d) 基本的な操作はキーボードから手を離さずに済むようアクセラレーター・キーが設定してあります。できるだけ操作することに煩わされずに学習（記憶）に集中できるようにしました。

「こと・くら リーダー」は使用時に登録をお願いしているシェアウェアです。試用時には再生できる「メモの個数」を制限しています。制限はありますが全体としての操作感をご確認いただけます。

2. インストールとアンインストール

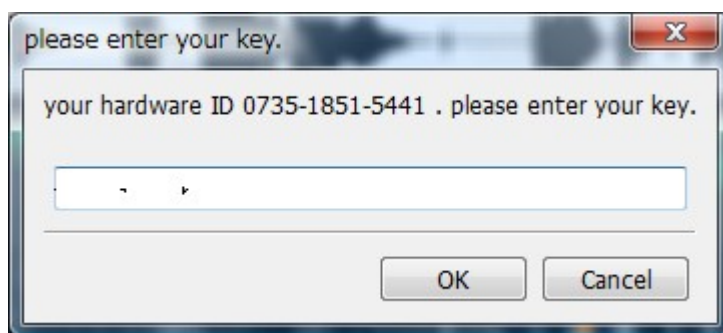
インストール作業は特に必要ありません。圧縮ファイルを解凍し任意のフォルダでご使用ください。ただし登録時にはキーを格納するファイルを実行ファイルと同一のフォルダに作成しますのでファイル作成の権限が必要になります。また音声ファイル、スクリプト用のファイル、声紋画像のファイルをダウンロードする場合には、メモ・ファイルと同一フォルダに保存しますので、該当するフォルダに対するファイル作成の権限が必要になります。

アンインストールについても特別な作業は必要ありません。実行ファイルをそのまま削除してください。

3. 登録

「こと・くら リーダー」は使用時に登録をお願いしているシェアウェアです。登録は次の手順をお願いいたします。

- 1) 登録したい旨を記したインターネットメールを fuja2@bj8.so-net.ne.jp（園部和夫）宛てに送付ください。その際に「件名」の先頭に【KotoKuraReader】の単語を入れてください。KotoKuraReader については半角英数字をお願いいたします。
- 2) 送金（登録料：2,100 円）をお願いする口座をこちらよりお知らせいたします。
- 3) メニューより「Help」→「register」と進み、表示されたハードウェア ID を控えてください。



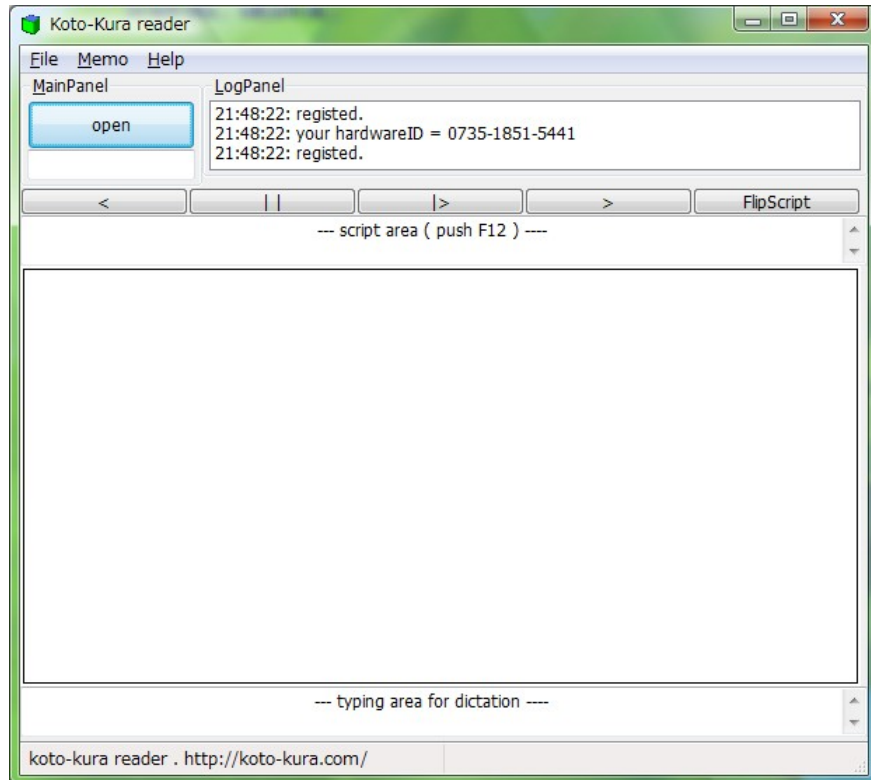
- 4) 送金の「ご依頼人」と「hardware ID」を記入し、送金した旨をインターネットメールにてお知らせください。領収書をご希望の場合には「宛名」と「領収書の送付先」をメールにご記入いただければ「送金の日付」にて領収書を発行しお送りいたします。
- 5) 「hardware ID」に対応する key を発行しインターネットメールにてお知らせいたします。メニューより「Help」→「register」と進み、お知らせした key を入力いただければ「こと・くら リーダー」の全ての機能をご利用いただけるようになります。入力された key は実行ファイルと同一フォルダに key.txt ファイルとして保存されます。実行ファイルを移動する場合には一緒に key.txt を移動していただければそのまま使用できます。key.txt ファイルが失われた場合にも key を再入力していただければ問題ありません。
- 6) ハードウェアの変更や OS のアップグレードにより key が必要な場合には新たな「hardware ID」をお知らせください。key を再発行いたします。
- 7) Ver.1.1 以降では、登録のお申し込みに Vector のシェアレジをご利用いただけるようになりました（シェアレジ 作品番号：SR240101）。シェアレジをご利用いただく場合は、作成者に直接メールを出す必要はありません。「hardware ID」については、シェアレジの手続きの中で「利用者-作成者連絡欄」が表示されますので、そ

ちらにご記入ください。シェアレジをご利用いただいた場合の **key** の再発行については、現在お使いの環境の「**hardware ID**」と「**key**」、新たな環境の

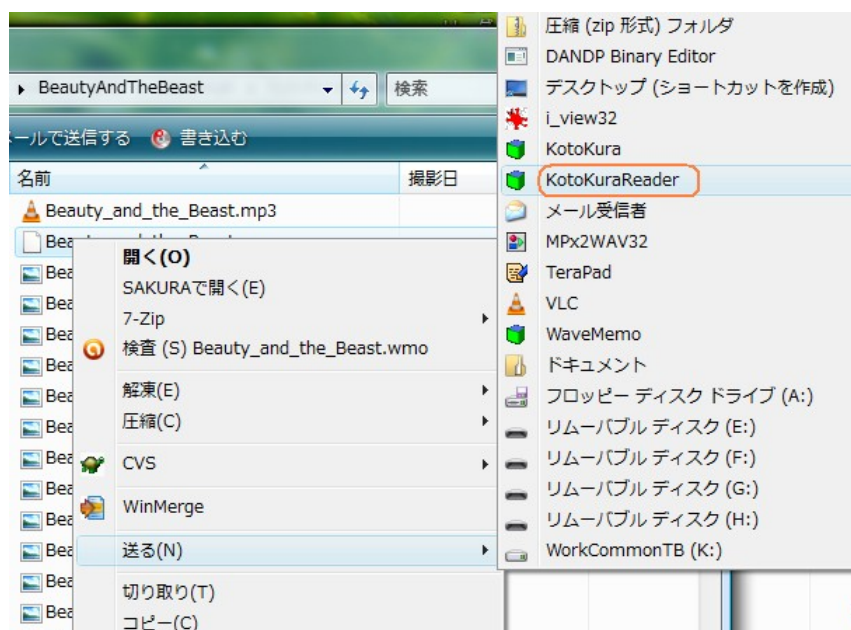
「**hardwareID**」をお送りください。現在お使いの環境の「**key**」を確認し、新たな環境に対する「**key**」を発行いたします。シェアレジをご利用いただいた場合、お名前やメールアドレスでのご確認はできませんので、過去に発行した「**key**」を紛失しないようお気をつけください。

4. 起動

ファイルを解凍後、「こと・くら リーダー」実行ファイルをダブル・クリックしてください。以下の画面が現れます。

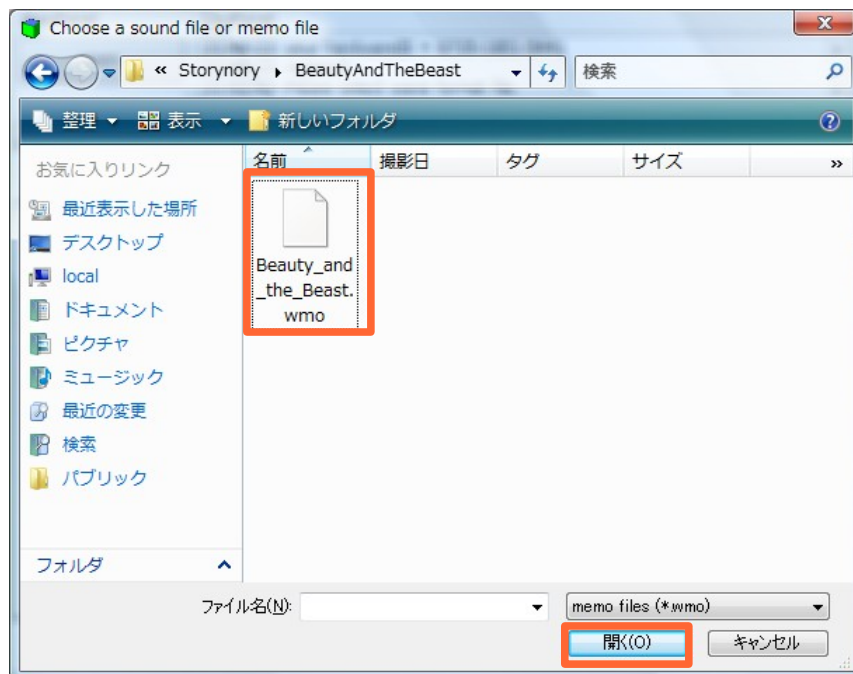


また、Windows のコンテキスト・メニュー「送る」に登録することで、メモのリストを保存したファイル (*.wmo) にマウスをあてて右ボタンのクリックでファイル・ブラウザ経由の起動ができるようになります。

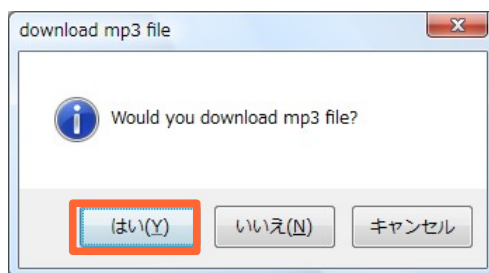


5. ファイルの読み込み

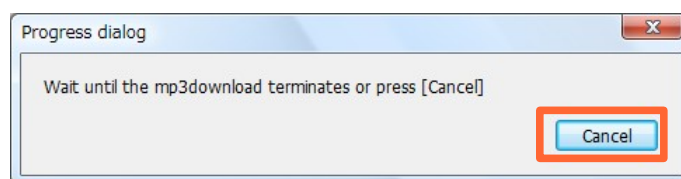
画面内の「open」ボタンを押してください。ファイル選択ダイアログが現れますので拡張子が wmo のファイル名を選択し「開く」ボタンを押してください。



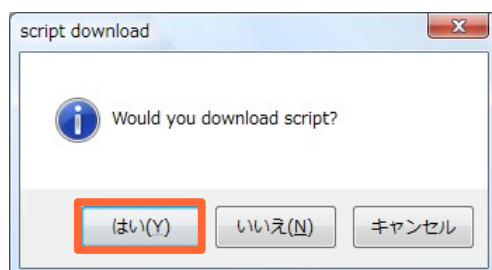
まだ対応する mp3 音源がダウンロードされていない場合には、次の確認ダイアログが表示されます。



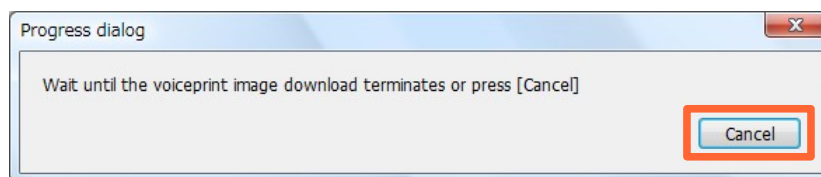
「はい」を押すとダウンロードが開始され次のダイアログが表示されます。途中でキャンセルしたい場合には「Cancel」ボタンを押してください。



まだ対応するスクリプトがダウンロードされていない場合には、次の確認ダイアログが表示されます。「はい」を押すとダウンロードが開始されます。



まだ対応する声紋画像がダウンロードされていない場合には、ダウンロードが開始される次のダイアログが表示されます。

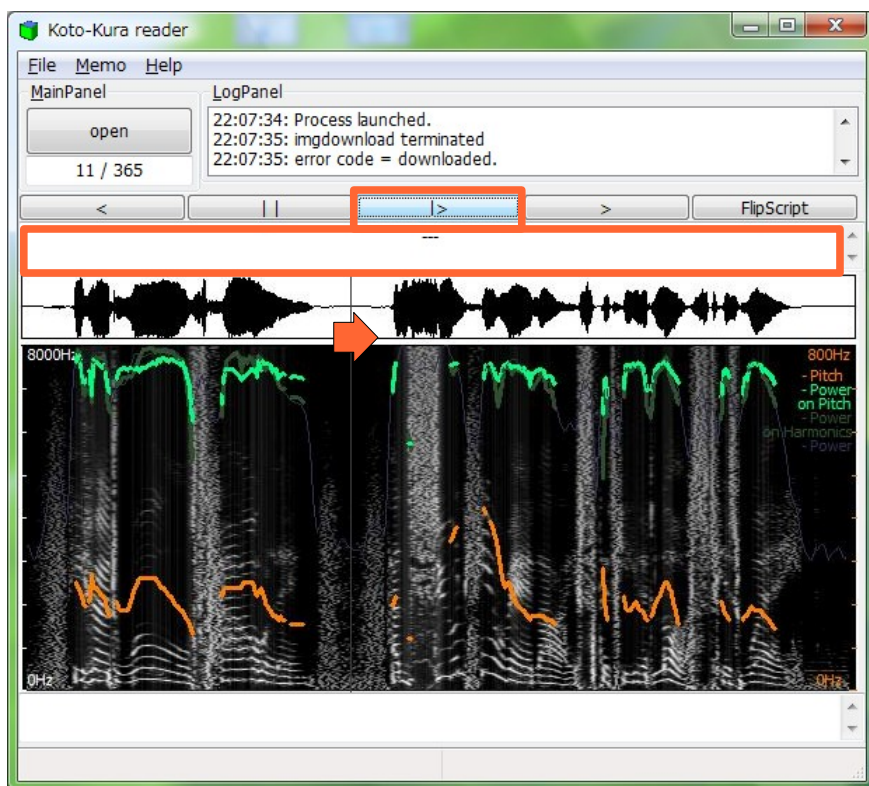


途中でキャンセルしたい場合には「Cancel」ボタンを押してください。声紋画像のダウンロードについては、後述するようにメモを移動する毎に声紋画像を確認してダウンロードを行います。一度キャンセルがあった場合には次の声紋画像からはダウンロードを行わないように動作を切り替えるようにしました。ネットワークが回復するなどして、ダウンロードを再開したい場合には「こと・くら リーダー」を再起動してください。再起動によりまたダウンロードを行うようになります。以上のダウンロードが終わると次のような画面が表示されます。

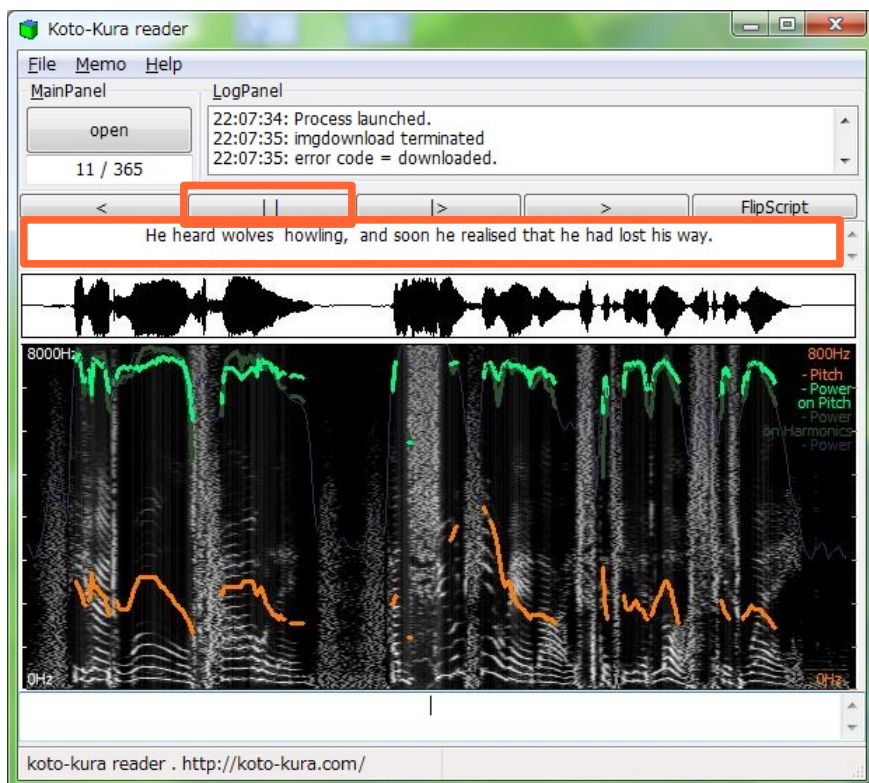


6. 再生と停止

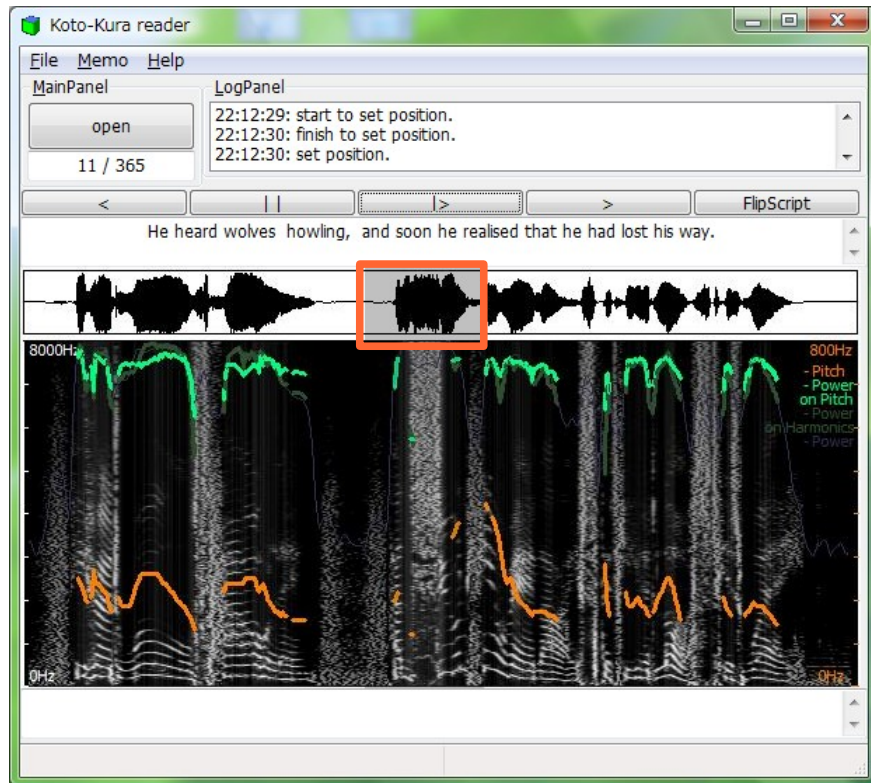
「|>」ボタンを押すとメモに対応する音声が生再生されます。また画面には再生位置を示す縦線が表示されます。再生開始でスクリプトはいったん非表示となります。



「||」ボタンを押すと再生は停止します。再生停止でスクリプトは再度表示されます。



波形と声紋が表示されている領域でマウスの左ボタンをドラッグすることで再生範囲を指定することができ、指定した範囲は灰色の網掛けとして表示されます。以下のような状態で「|>」ボタンを押すと指定された範囲だけが再生されます。範囲の指定はマウスを移動させずに左ボタンを二度押すことで解除できます。

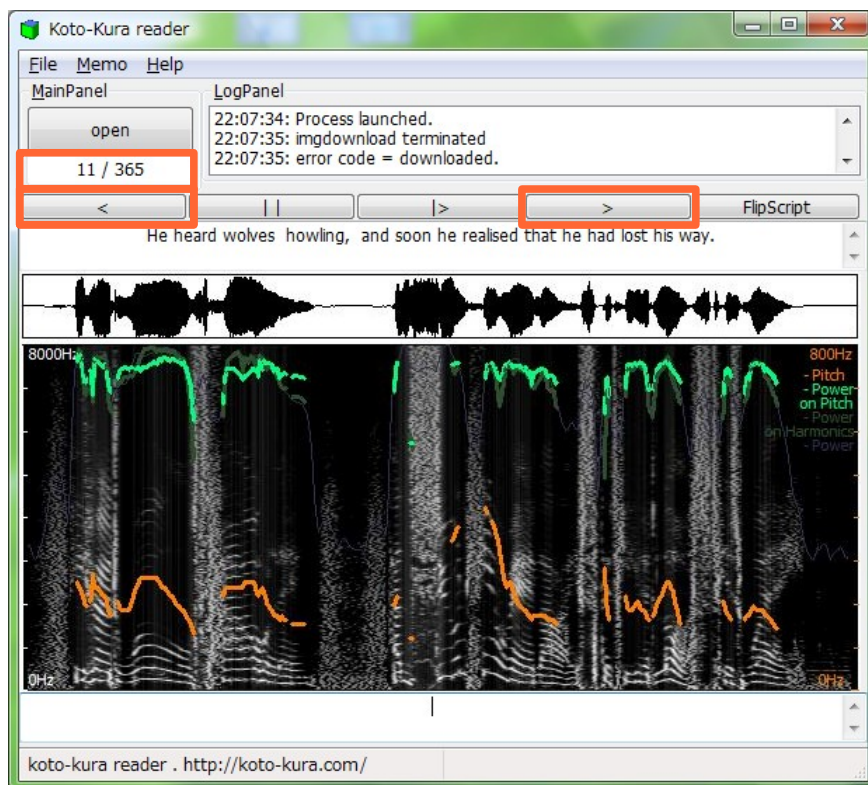


7. スクリプトの表示

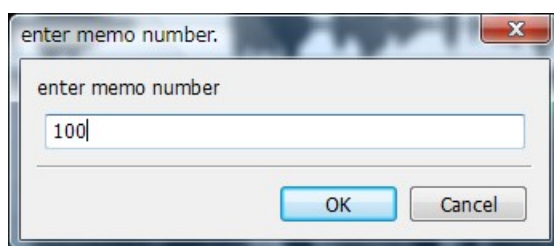
スクリプトの表示と非表示は、音声の再生と停止に連動して行われますが、それとは別に「FlipScript」ボタンを押して切り替えることもできます。「FlipScript」ボタンの押下によりスクリプトが表示されている状態であれば非表示に、非表示の状態であれば表示されるようになります。

8. メモの移動

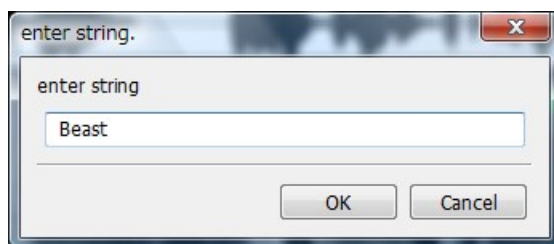
「>」ボタンを押すことで一つ後のメモに移動できます。また「<」ボタンを押すことで一つ前のメモに移動できます。メモの移動に伴って現在位置は「現在位置 / 全体数」の形で表示されます。



メニューより「Memo」→「GoTo」と進み、表示される以下のダイアログにメモの番号を入力することで直接所望のメモに移動することができます。



メニューより「Memo」→「Search」と進み、表示される以下のダイアログに所望の文字列を入力することで、その文字列を含むメモに移動することができます。



またメニューより「Memo」→「LastMemo」と進むと、過去に表示されていたメモに一つ戻ることができます。

メニューに登録した項目には、次のようにアクセラレータ・キーを設定していますので、これらの操作をする場合には、キーボード上で操作ができます。

